

1. 事業説明シート(1)

事業名	経営体育成基盤整備事業(国補)		事業箇所	富士吉田市大明見、小明見		地区名	富士吉田東部		事業主体	山梨県	
(1)事業着手年度	H7年度		(2)事業期間	H7~H19年度		(3)完了後経過年数	5年		(4)総事業費	1,666百万円	
(5)事業着手時点の課題・背景						(8)事業位置図等					
<p>本地区は、富士吉田市東部の明見地区内に位置し、水稻栽培を主体とする山間部の営農団地である。</p> <p>地区内の農道は幅員が狭い上に未舗装であるため、農産物や生産資材の運搬に支障を来すとともに、用排水路も老朽化による漏水が発生するなど水管理に多大な労力を費やしていた。</p> <p>このため、農道整備を基幹に、用排水路及び暗渠排水の整備を総合的に実施することにより、農業経営の効率化と安定を図るものである。</p>						省略					
(6)事業着手時点で想定した整備目標・効果											
<p>(事前評価未実施)</p> <p><input type="checkbox"/> 主要目標 農業生産力の向上</p> <p><input type="checkbox"/> 副次目標 集落間・小規模拠点施設へのアクセス向上 農業用排水能力の向上</p> <p><input type="checkbox"/> 副次効果 農地の保全</p>											
(7)整備内容(目標達成の方法)											
<ul style="list-style-type: none"> ・ 農道 幹線(1路線) L=1.65km W=6.0m 支線(3路線) L=1.00km W=4.0m ・ 用排水路 (1路線) L=0.55km ・ 暗渠排水 A=2.4ha 											

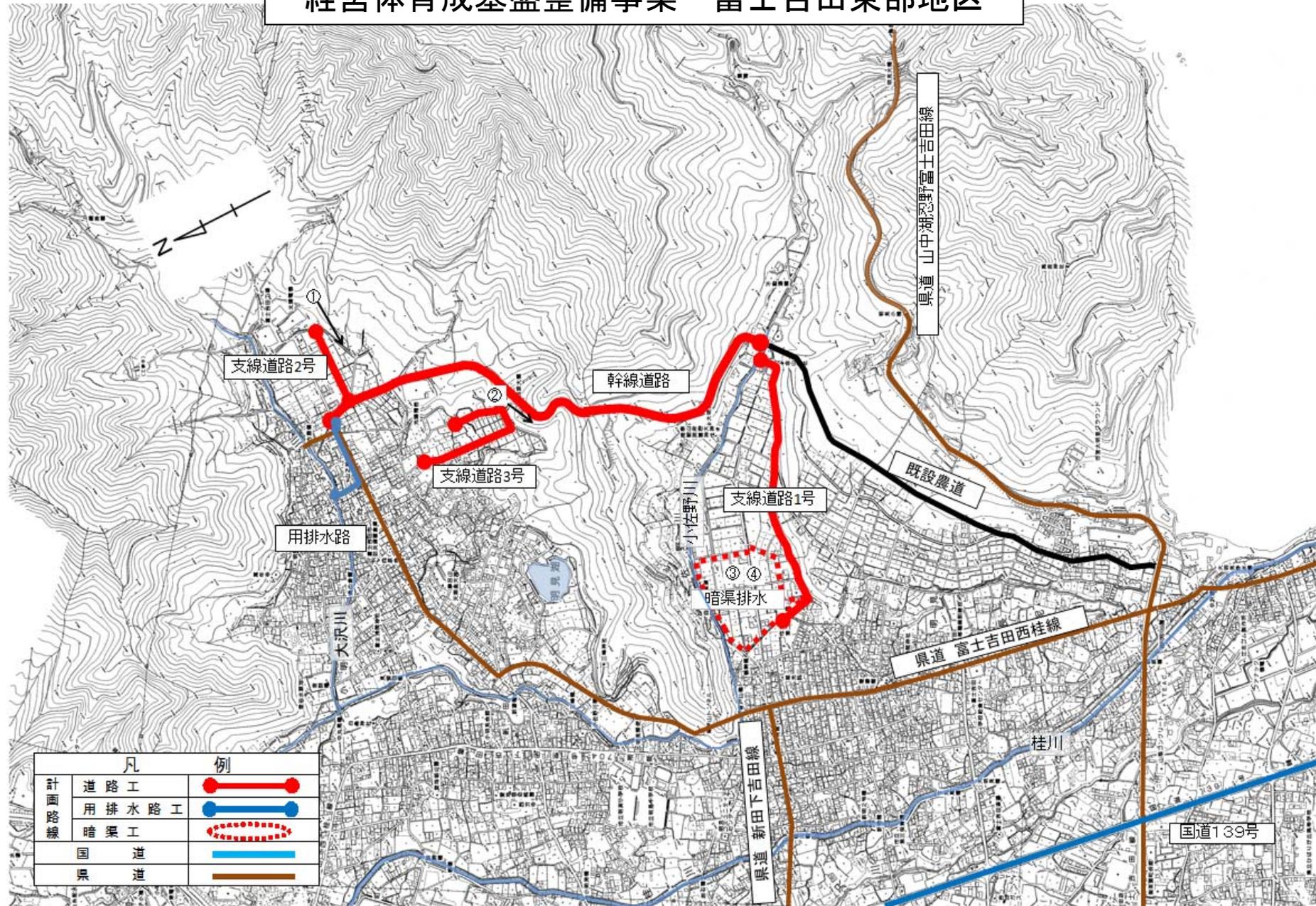
2. 評価シート（1）

<p>(1)事業貢献度 〈 (良) ・ 不良 〉</p> <p>(理由) ・農道や用排水路、暗渠排水が整備されたことにより、営農環境が向上し、農産物の増収や維持管理労力の軽減が図られ農業所得が増加した。</p> <p>①主要目標 農業生産力の向上</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width:30%;">指 標</th> <th style="width:30%;">着手時点数値等</th> <th style="width:30%;">評価時点数値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>面積当たり農業所得増加額</td> <td>1,213千円/ha →設定せず</td> <td>1,657千円/ha</td> </tr> </tbody> </table> <p>□評価時点の数値に対する評価 ・農業所得の増加額が、基準値 1,213千円/ha を上回っている。</p> <p>②副次目標 集落間・小規模拠点施設へのアクセス向上 農業用排水能力の向上</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width:30%;">指 標</th> <th style="width:30%;">着手時点数値等</th> <th style="width:30%;">評価時点数値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全幅員4m以上道路延長率</td> <td>59.1%→設定せず</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>農業用排水能力の向上</td> <td>1.00→設定せず</td> <td>1.90</td> </tr> </tbody> </table> <p>□評価時点の数値に対する評価 ・事業の完成により 2.65km の道路が幅員4m以上に改良され、幅員4m以上道路延長率が100%となった。 ・用排水路の整備により、用排水能力向上率が1.90となり、基準値1.00以上を満たしている。</p> <p>③副次効果</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width:20%;">指 標</th> <th style="width:80%;">内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農地の保全</td> <td>排水不良により湿田化していたが、暗渠排水工を実施し、水はけのよい優良な農地が保全されている。</td> </tr> </tbody> </table> <p>④その他の事業効果の発現状況 ・農業生産基盤の整備が進み、農作業条件が改善されたことで、減農薬や減化学肥料等の環境にやさしい農業が導入された。</p>	指 標	着手時点数値等	評価時点数値	面積当たり農業所得増加額	1,213千円/ha →設定せず	1,657千円/ha	指 標	着手時点数値等	評価時点数値	全幅員4m以上道路延長率	59.1%→設定せず	100%	農業用排水能力の向上	1.00→設定せず	1.90	指 標	内 容	農地の保全	排水不良により湿田化していたが、暗渠排水工を実施し、水はけのよい優良な農地が保全されている。	<p>(2)費用対効果分析の算定基礎となった要因等の変化 〈 (有) ・ 無 〉</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width:20%;">項 目</th> <th style="width:30%;">着手時点の計画</th> <th style="width:50%;">事後評価時点の実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総事業費</td> <td>742百万円</td> <td>1,666百万円</td> </tr> <tr> <td>工 期</td> <td>H7~H13</td> <td>H7~H19</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>1,110百万円</td> </tr> <tr> <td>便益</td> <td>2,130百万円</td> </tr> <tr> <td>B/C</td> <td>1.37</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>2,445百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>1.15</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 平成16年度再評価地区 総事業費 1,582百万円、工期 H10~H18に見直し</p> <p>(要因変化の分析)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総事業費： 詳細調査を行ったところ、法面保護の擁壁工や橋梁延長が変更となったため、事業費が増加した。 ・工 期： 事業費の増加と一部用地交渉が難航したため、6年間の工期延長となった。 ・費 用： 事業費が増加したことにより、費用が増となった。 ・便 益： 県道山中・忍野・富士吉田線の整備により、一般交通の流入が当初計画より増加したため。 <p>(3)事業実施による環境の変化 〈 (有) ・ 無 〉</p> <p>①自然環境への影響 ・なし</p> <p>②生活・居住環境等への影響 ・県道間のアクセスが向上し、地域住民の生活交通の利便性が高まった。</p> <p>③環境保全対策の効果の発現状況（措置を講じた場合） ・なし</p> <p>(4)社会経済情勢の変化が事業に及ぼした影響 〈 有 ・ (無) 〉</p> <p>①社会経済状況の変化 ・なし</p> <p>②関連計画・関連事業の状況の変化 ・なし</p> <p>③事業環境等の変化 ・なし</p>	項 目	着手時点の計画	事後評価時点の実績	総事業費	742百万円	1,666百万円	工 期	H7~H13	H7~H19	経済効率性	費用	1,110百万円	便益	2,130百万円	B/C	1.37			2,445百万円			1.15
指 標	着手時点数値等	評価時点数値																																								
面積当たり農業所得増加額	1,213千円/ha →設定せず	1,657千円/ha																																								
指 標	着手時点数値等	評価時点数値																																								
全幅員4m以上道路延長率	59.1%→設定せず	100%																																								
農業用排水能力の向上	1.00→設定せず	1.90																																								
指 標	内 容																																									
農地の保全	排水不良により湿田化していたが、暗渠排水工を実施し、水はけのよい優良な農地が保全されている。																																									
項 目	着手時点の計画	事後評価時点の実績																																								
総事業費	742百万円	1,666百万円																																								
工 期	H7~H13	H7~H19																																								
経済効率性	費用	1,110百万円																																								
	便益	2,130百万円																																								
	B/C	1.37																																								
		2,445百万円																																								
		1.15																																								

評価シート（2）

<p>(5) 今後の事後評価の必要性 〈 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 〉</p>	<p>(7) 同種事業の計画・調査のあり方の見直しの必要性 〈 <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 〉</p>
<p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の事後評価において、増加所得額等の十分な効果が発現されているため、今後の事後評価は必要ないと思われる。 <p><input type="checkbox"/> 「有」の場合の実施時期及び方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 時期： 年度 ・ 方法： 	<p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幹線農道を施工するにあたり、事業着手後の詳細調査で軟弱地盤等が確認され、それに対応するための工法の変更等があり、事業費が増加した。 [事業費の増加の要因] ① 軟弱地盤に対応するための工法を実施（軽量盛土工、抑止杭工等） ② 用地の取得ができなかった区間を回避するための線形変更に伴う幹線農道の施工延長の増 ・ 上記の工法の変更や用地交渉が一部難航したため、事業期間を6年間延長した。 <p>(具体的反映策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の事業計画にあたっては、現地調査を入念に行い地形や土質を的確に把握し、事業計画時における事業費算定等の精度の向上に努める。 ・ ワークショップなどを通じて住民の合意形成を図ることで、地域ぐるみで事業を計画推進していく体制を構築する。
<p>(6) 本事業における改善措置の必要性 〈 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 〉</p>	<p>(8) 事業評価手法の見直しの必要性 〈 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 〉</p>
<p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なし <p>(具体的改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なし <p>(既に実施した改善策の内容と効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なし 	<p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なし <p>(具体的反映策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なし <p>(9) その他特筆すべき事項 〈 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なし

経営体育成基盤整備事業 富士吉田東部地区



3. 添付資料シート（2）

① 地域の営農状況



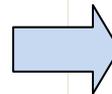
有機肥料を投入するなど、環境にやさしい栽培方法によるブランド米「ミルキークイーン」が地域に導入された。

② 農地、集落、集出荷所を結ぶ幹線道路



農道整備により通作や作物の運搬、集出荷が容易になった。

③ 排水が不良な状態の水田



④ 暗渠排水が施工された水田 水はけが良好な状態



暗渠排水により排水不良が解消され、生産性と農業機械による作業性が向上した。